

議会だより

第四回定例村議会

議員の辞職により不成立

昭和五十六年第四回定例村議会は、集したり、会議を開いたりすること、同日二十四日午後一時三〇分に開会することとなつておりました

（敬称略 五十音順）

八名の議員が辞職されたことにより、すでに欠員となつておられる一名を合せて九名の議員が欠けたことにより議会の開く定数に満たなくなりました。

なお、このことについて欠員となつた九名の補欠選挙を執行して月瀧村選挙管理委員会に欠員の通知をいたしました。

村議会議員補欠選挙

一月三十一日告示と決まりました
二月 七日投票

昭和五十七年一月三十日（土）

村議会議員が辞職したことにより、欠員が九名となり、補欠選挙を行うことになりました。このため、一月五日に選挙管理委員会を開催し、選挙期日等を次のとおり決定しました。

- 一、選挙期日（投票日） 昭和五十七年二月七日（日）
二、告示 昭和五十七年一月三十一日（日）
三、選挙人名簿登録基準日 昭和五十七年一月三十一日（日）

四、選挙人名簿に登録され選挙権を有する者
引続き村内に住所を有する人。昭和五十七年二月八日以前に出生した人。
他市町村から転入した人で、昭和五十六年十月三十日以前に転入届をし、引き続き村内に住所を有する人。

善意を
ありがとうございます
去る十二月二十五日、月瀧村大字月瀧、福嶋佳夫さんから社会福祉に役立ててほしいと四千四百円の寄付がありました。社会福祉協議会では福祉向上に有効に使わせていただきます。本当にありがとうございます。

人のためでない、我が身のために!! 各場対策愛の「感謝献血」

昭和五十七年 一月六日実施

善意の百十三名の方、ご苦労様でした。皆さん「よいことをした!!」って、ホッとされた顔がた

だよいました会場は、困りは一瞬あたたかい空気につつまれました。

幸いに当日の、一月のお天気は、思われないようなよい天気は、各位の好意そのものだったと思われ

ます。きつと多くの方に役立つことでしょうか。「おらー、血なんかいらんでや!!」もってえネー

「と言われる方、一年に一回位はぜひ協力いただきたい。いっどんな災難が我が身に...のためお金より大切な貯蓄を健康な時にぜひ心がけたいものです。休み中の学生さん!! 本当に有がとうございました。当日の方に敬意を示し、ここにお名前を掲載し有意義でありましたことを厚くお礼申し上げます。

- ◎大別当
五十嵐義雄 薄田 宗久
伊藤 正男 薄田 アイ
伊藤 正美 小武内明浩
小林 常夫 五十嵐藤重
斎藤ヨシエ
◎月瀧
田村 泰 樋浦 直樹
田村 恭子 関根 久男
深沢 隆平 栗田 猛
深沢 学 広野 誠
星野 浩夫 野内 ミヨ
星野 小枝子 小林 綾子
星野 満子 鷲尾 良直
◎関根
関根 ミヨ 五十嵐安正
中村 久子 矢挽由紀子
山際 晴彦 関根 栄子
金子 葉子 野内 れい
山田 由由 野内 栄子
青柳 幸子 登石 栄子
星野 秀章 ◎田辺美知男
星野 シズ子 棚橋 章好
◎登石
田中 卓 棚橋 明美
近藤 一弥 登石 花子
吉田 英俊 笹川 秋子
丸山 知也 本間 正子
丸山 修也 鷺尾 勝行
小林 聡 金子 一栄
◎西堂場
田辺 弥生 後藤 慎治
◎東長島
河井 昌子
◎木
岩本 巧 高木 宏祐
◎岩本
間島 幸雄 高木 里美
◎間島
間島千代子 高木二美代
◎高木
高木 喜一 間島 和代
◎奇
萩原 重光 神保 幸子
◎釣奇新
後藤 チカ 大谷 良弘
◎村外の方
長谷川 勝 小林 栄子
中島 吉雄 小林 スミ
幡本 隆美 佐藤 ヨシ
◎その他
その他役職員二十四名の協力でを受けた者近藤文子宮本康明・五十嵐善吉でした。

※名前の上の◎は今回で十回目を迎え日赤から彩を受けた方です。尚、村では今年度中に村の会場で十回以上なられたことを確認できた方に日を改めて記念品を贈呈の予定です。

二百五十名が完走!

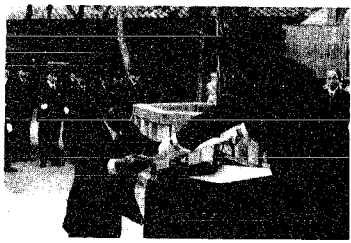
第二回元旦マラソン



よくスタートしました。続いて午前〇時十分、Bコース（4km）の健脚組がスタートし、一人の落後者もなく二百五十名全員が完走いたしました。（写真）

レース後、参加者に参加賞、完走証が渡され、又福引きも行なわれて、和やかなうちに元旦マラソン大会が終了いたしました。

登石栄作・山田明両氏に感謝状贈呈



昨年十二月二日、大字月瀧でストーブの過熱であわや火災になるころ、登石栄作さん、山田明さん（中之口村）の適切な処置により、火災を未然に防がれた勇氣ある行動に對して白根地区消防本部並びに月瀧村から感謝状が贈られました。（写真）

例年この季節は火災が多く発生しています。火の元には十分注意して下さい。

歳時記 針供養

二月八日は針供養。この日は、裁縫をしないで針を休め、使った折れた針を集めて針養する日です。

近ごろの若い女性は、針を持つことが少なくなつたようです。この冬、スカートの丈がかなり短くなり、前から持っていたスカートのスソ上げをした女性がたくさ

んいました。それで、このころの売れ行き好調なのが、スソ上げ用のテープだとか。スソを内側に折り込んでテープを載せ、アイロンで押さえれば、ハイ、でき上がりというわけです。

しかし、一方で、和裁のけいこをする若い女性も増え、各地の針供養にはヤング・ウーマンの姿も目立っているようです。

針供養の行事は、土地によってさまざまですが、折れた針を豆腐やコンニャク、モチなどに刺して供養したり、古い針を集めておいて紙に包んで神社に納めたりします。こうして、裁縫や手芸の上達を祈るのです。

針供養といえ、淡島神社。針の神といわれる聖徳太子（はりさいいん）を祭る和歌山市加太町の淡島神社を本社として各地にあり